

令和5年度 事業報告書（敬愛園）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

I 総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、各施設において制限されていたイベント活動を再開し、更なるサービスの質の向上及び稼働率の維持に繋げることができました。また、職員に対する研修や交流会についても活発に実施することができました。

アットホーム博多の森では、特養入居者の入院、退居者数が大幅に減少し、高い稼働率を達成すると共に多職種連携による科学的介護等の取組によるサービスの質の向上、ショートステイのロングショート利用者をスムーズな特養入居に繋げ、合算稼働率の改善を図りました。デイサービスは、近隣事業所が軒並み休止となり、その利用者を獲得することができました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、93.5%（前年比1.8%増）。デイサービスの稼働率は、65.9%（前年比16.0%増）。居宅介護支援事業所の年間請求件数は、398件（前年比9件増）となりました。

アットホーム諸岡では、「介護の質の向上」を施設目標に掲げて、離職対策、人財の確保、科学的介護の促進、感染・災害対策、業務のスリム化に取り組み、どの目標についても一定の成果を出すことが出来ました。デイサービスでは、利用者に喜んでいただけるような仕組み（余暇活動、家族への写真・お手紙の送付など）を1年間通して継続し、利用者・家族から高い満足度を得ることが出来ました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は96.3%（前年比0.2%増）、デイサービスの稼働率は、87.6%（前年比0.7%増）となりました。

アットホーム福岡では、サービスの質の向上を図るため、自立支援介護の観点から水分・運動・栄養・排泄を中心としたケアを他職種協働にて取り組みました。また、看護職を中心に誤嚥性肺炎予防のケアに努め、入院者減少に繋がりました。ショートステイでは、基本断らない姿勢で相談を受け、特養の空床も含めてベッド管理に努めました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、95.8%（前年比0.1%減）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、96.2%（前年比1.7%増）。ケアセンター県庁口の年間請求件数は、1,137件（前年比95件増）。けいあい保育園の稼働率は、69.3%（前年14.5%減）となりました。

ケアスタ福岡では、コロナ感染症が5類に移行となり、本来の事業所運営の軸となる地域交流を行い、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全体で取り組みました。グループホームの稼働率は、92.3%（前年比7.2%増）。千代パピヨンデイサービスセンターの稼働率は、67.0%（前年比1.0%増）。小規模多機能型居宅介護の稼働率は、88.2%（前年比6.1%減）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、85.3%（前年比0.3%減）となりました。

福岡介護福祉専門学校では、コロナ感染症が5類に移行したことにより、コロナ前の教育活動に戻しました。特に介護現場との行き来が可能になったことで、本校の特徴である実践教育、敬愛園式介護教育法を再開させました。学生募集については、日本人・留学生の受験者が前年度より増加したことで、令和6年度の入学生は定員である40名が入学することとなりました。

照葉けいあい保育園では、「子どもたちの健やかな成長を願い、一人ひとりのありのままの姿を尊重し、安心して失敗できる毎日を保証する」とし「子ども主体の保育」を目指し取り組み、保育者同士が共通理解をすることに力を注ぎました。令和6年3月時点の定員充足率は、103.8%となりました。

照葉けいあいホームでは、令和5年4月1日に新規開設し、スムーズな運営開始ができました。在宅サービス事業所との連携を図りながら、入居促進、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全員で取り組み、稼働率は、72.6%となりました。

令和6年8月新規開設の「アットホーム板付」については、アットホーム諸岡と協働して、入居者の獲得及び職員の確保に取り組み、事業が早く軌道に乗るよう営業活動に取り組んでいます。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、24億9,160万円（前年比1億3,931万円増）。人件費は、15億6,279万円（前年比9,378万円増）。経費は、6億5,691万円（前年比1,890万円増）となりました。事業の収益性を表す経常増減差額は、1億3,020万円（前年比2,875万円増）。法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、5.2%（前年比0.9%増）となりました。

II 各事業所の運営状況

法人本部・在宅支援課

1. 経営基盤の確立及び施設整備

法人の適正な事業運営のため、各拠点の会計責任者（施設長）が出席する定例会を週一で開催しました。定例会では、施設運営・収支状況に関する情報を共有し、適正な予算執行に努めました。在宅支援課では、各サービス部門（グループホーム、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援事業所）の強化を図りました。

2. 人材の確保・育成及び処遇改善

適正人員プロジェクトにより、適正な人員配置を原則とし、業務の効率性及び職員の意識改革を図りながら、派遣職員の活用を控える等、人件費の調整を行いました。

新卒職員を確保するため、ホームページの求人案内・ブログ等のコンテンツを充実させました。また、介護福祉士養成校との連携、職員寮の案内、奨学金制度や介護実習の受け入れから、新卒者を採用しました。

将来の生産年齢人口の減少を見据えた対応として、業務の切り出しを進め、障がい者雇用や地域の元気な高齢者の雇用による裾野の拡大を図りました。

【正職員の採用・退職等の状況】

事業所名	前年度末 の職員数	採用者数			退職者数		法人内 異動等	今年度末 の職員数
		介護職員 保育士	その他 職種	(うち新卒)	介護職員 保育士	その他 職種		
アットホーム博多の森	64	7		(3)	5	1	3	68
アットホーム諸岡	57	6	1	(2)	1		-2	61
アットホーム福岡	64	4		(3)	3	1	-2	62
けいあい保育園	7	1			1			7
ケアスタ福岡	38	7		(1)	7	1	1	38
照葉けいあい保育園	20	7		(4)	3	1	1	24
照葉けいあいホーム	6	7		(1)	2		2	13
法人本部	4		1				-1	4
合計	260	39	2	(14)	22	4	2	277

3. 福利厚生の実施

職員互助会については、4年ぶりにグループ法人の職員たちが一堂に会し、懇親会（忘年会）を開催しました。参加人数は300名に達しました。その他、屋形船での交流会、ソフトバンクホークスの観戦チケット・映画鑑賞券の配布を行いました。

年に1度、職員の心理的な負担を把握するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを行い、衛生委員会と協力して職員のメンタルヘルス（精神面における健康）に努めました。

アットホーム博多の森

1. 運営実績報告

令和5年度は安定した事業運営となりました。特養入居者の入院、退居者数が大幅に減少し、年平均98.6%と高稼働率を達成することができました。要因としては多職種連携による科学的介護等の取組によるサービスの質の向上が挙げられます。またショートステイは、目標稼働率を下回りましたが、獲得した特養待機にあたるロングショート利用者をスムーズな特養入居に繋げ、合算稼働率の改善を図りました。

デイサービスについては、近隣事業所が軒並み休止になり、その利用者を獲得するなどにより65.9%と昨年、一昨年を上回る結果となりました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別養護老人ホーム	99名	96.6%	95.2%	98.6%
ショートステイ	27名	74.0%	78.8%	74.6%
入居全体	126名	91.8%	91.7%	93.5%
デイサービス	18名	48.2%	49.9%	65.9%
居宅介護支援事業所	年間	69件	389件	398件

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ入居者数		33名	34名	27名
延べ退居者数		35名	34名	25名
延べ入院日数		836日	1,255日	481日
平均介護度		3.43	3.52	3.56
割合	介護度1	2.2%	0.9%	3.5%
	介護度2	9.8%	13.3%	11.8%
	介護度3	41.8%	36.8%	31.8%
	介護度4	35.0%	30.8%	30.8%
	介護度5	11.2%	18.2%	22.2%

2. 安全衛生管理状況

感染症について、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念される中、インフルエンザ発生5件と蔓延防止に努めることができました。その他転倒等の事故も前年を下回ることができましたが、1件の誤飲による窒息事故が発生し残念な結果となり、適切な介護方法などの見直しを要すことになりました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
転倒・転落・接触	3件	6件	4件
誤薬・誤嚥・異食	5件	7件	1件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	25件	5件
その他	1件	3件	1件
合計	9件	41件	11件

3. 職員研修

令和5年度、計画通り研修を実施することができました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	感染症（基礎編）	10名	10月	胃ろう・喀痰吸引	11名
5月	身体拘束／権利擁護	7名	11月	褥瘡防止研修	15名
6月	食中毒防止研修	11名	12月	感染対応（実践版） 身体拘束／権利擁護	13名 10名
7月	看取り	9名	1月	災害研修	12名
8月	リスクマネジメント	16名	2月	高齢者虐待	12名
9月	高齢者虐待	14名	3月	リスクマネジメント	17名

※全職員対象資料配布

※高齢者虐待／身体拘束全職員対象、各部署会議にて伝達研修実施

4. 行事報告

ご入居者及び施設職員のみで行事を実施しました。

【主な行事】

	行事名
春	花見弁当提供・施設敷地内桜花見・ドライブ
夏	ニ花火大会・おやつ提供（ソフトクリーム、あんみつ・・・）、そうめん流し
秋	敬老会・秋まつり
冬	季節を感じる作品作り、おやつ提供・餅つき大会
通年	各フロア（おやつ作り等ミニレクリエーション）

5. 地域活動

令和5年度は、ほぼコロナ禍前同様の行事が行われ職員のみ参加しました。町内一斉清掃、神社神事、4年ぶり開催となる夏祭り、祭りでは、朝・夜と職員を2グループに分け準備・後片付けと大きく地域へ貢献することができました。また、年度後半には買い物支援も月1回で再開しています。

アットホーム諸岡

1. 運営実績報告

特養・ショートステイでは、下半期に入院・退居(看取り含む)が重なり、目標を下回る月が数か月続いた時期がありましたが、上半期の高稼働率のおかげで、年間稼働率では目標に対してプラス1%で終えることができました。取り組みとしては、『介護の質の向上』を施設目標に掲げて、離職対策、人財の確保、科学的介護の促進、感染・災害対策、業務のスリム化に取り組み、どの目標についても一定の成果は出せたと評価します。

デイサービスでは、目標に対してプラス 2.5%で終えることができました。その要因として、利用者に喜んでいただけるような仕組み(余暇活動、家族への写真・お手紙の送付、居宅ケアマネへの利用状況の報告など)を1年間通して継続し、利用者・家族から高い満足度を得られたことが挙げられます。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別養護老人ホーム	80名	97.0%	95.7%	95.8%
ショートステイ	10名	87.5%	99.6%	100.1%
入居全体	90名	96.0%	96.1%	96.3%
デイサービス	10名	84.9%	86.9%	87.6%

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
延べ入居者数	17名	24名	21名	
延べ退居者数	19名	21名	22名	
延べ入院日数	502日	744日	827日	
平均介護度	3.92	3.88	3.78	
割合	介護度1	0.4%	1.0%	1.3%
	介護度2	5.4%	6.1%	8.8%
	介護度3	27.1%	26.3%	29.3%
	介護度4	36.4%	37.5%	32.0%
	介護度5	30.7%	29.1%	28.6%

2. 安全衛生管理状況

安全対策委員会を月に1回実施し、事故事例の共有・検証・対策検討・実施・評価を行いました。安全対策委員が中心となり、リスクマネジメントの内部研修も年2回実施しました。これらの取り組みを通して、施設内全体に事故予防の意識継続と対策検討力の向上を図りました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
転倒・転落・接触	1件	8件	4件
誤薬・誤嚥・異食	15件	10件	9件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	1件
食中毒・感染症	1件	16件	11件
その他	2件	1件	0件
合計	19件	35件	25件

3. 職員研修

各委員会活動の目標設定の1つに、内部研修の準備・実施を導入し、目標設定を明確にした上での活発な委員会活動に繋がりました。その成果もあり、どの内部研修の内容も質の高い内容となっていました。また、当日内部研修に参加できないスタッフに対しても、資料・データの回覧を実施して、研修内容の共有・把握に努めました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	権利擁護 個人情報保護	65名	10月	ポジショニング・シーディング	68名
5月	①BCP（災害対策実地訓練・シミュレーション）	7名	11月	BCP（感染時事業継続計画）	65名
	②急変時対応	13名			
6月	①BCP（災害対策実地訓練・シミュレーション）	7名	12月	感染症対策	65名
	②BCP（災害対策実地訓練・シミュレーション）	7名			
	③ケアプランについて	64名			
7月	食中毒・感染予防	66名	1月	身体拘束・高齢者虐待予防（スピーチロック・ユマニチュード）	63名
8月	リスクマネジメント	65名	2月	リスクマネジメント	67名
9月	身体拘束・高齢者虐待予防・ユマニチュード	64名	3月	看取り	64名

4. 行事報告

年度初めは、感染症対策への強化を継続した状態であった為、イベントの実施にも慎重な部分が見られていた。その後、国の方針に沿う形で、『With コロナ』の観点から通常対応に移行していく中で、各フロアのイベントを含め、『たのしみ』を共有する機会が増えた1年間でした。

【主な行事】※いずれも、感染対策に留意しながら3密を避けて実施。

	行事名
春	春の行事食（行楽弁当）、ドライブ、花見散歩、こどもの日（イベント食）、吉野家（コラボ食）、デザートデー（レディーボーデン）
夏	七夕そうめん（夏祭りイベント食）、土用丑の日（うなぎひつまぶし風）、ユニット夏祭り（各フロア）、山笠見学、たいめいけん（コラボ食）、喫茶店ドライブ、花火大会、かき氷イベント、水ようかん提供
秋	RUN 伴 2023～中継地点 ランナー応援～、敬老会、誕生日会、ドライブ（花・景色見学）、おはぎ提供（彼岸）、運動会、コスモス・菊見学、紅葉見学、イベント食（おしるこ）、山王公園、中之島公園ドライブ・散策、スイーツデー（芋ようかん）、焼き芋会、ハロウィンパーティー
冬	スイーツデー（バスクチーズケーキ）、太宰府天満宮ドライブ、クリスマス会、忘年会、新年祝賀挨拶、鏡開き（ぜんざい提供）、初詣、節分（ちらし寿司）、誕生日会、ココイチカレー（コラボ食）、吉野家親子丼（コラボ食）、ひな祭り（イベント食）、ドライブ、板付遺跡弥生館見学ツアー、婦人会来設（タオル、雑巾寄贈）、いちご狩り、イオンモール福岡ショッピング、博多ポートタワー見学、ハリネズミ触れ合い+ホワイトデー
通年	フラワーアレンジメント（毎月2回再開） 音楽療法（月2回再開） 傾聴ボランティア（月1階）

5. 地域活動

行事報告と同様に、感染対策に配慮しながら、様々な形で地域との連携を再開しました。

- ・地域清掃 週1回 毎週火曜日 10時30分から実施。
- ・傾聴ボランティアうぐいす（1回／月）※8月より再開。
- ・地域ボランティア来設（1回／月）※R6年2月より実施。
- ・地域買い物支援（1回／月）※現在、希望者なしの為、一時休止中。
- ・外部講師派遣（認サポ・キッズサポーター講師活動）※令和5年10月実施。
（活動実績：令和5年10月21日（土）「板付会館」地域住民約30名参加）
- ・地域子供神輿見学（地域夏祭り）：令和5年8月5日（土）
- ・健康講話（1～2回／年）※自治会と相談の上、再開予定

アットホーム福岡

1. 運営実績報告

サービスの質の向上を図るため、自立支援介護の観点から水分・運動・栄養・排泄を中心にしたケアを他職種協働にて取り組みました。また、看護職を中心に誤嚥性肺炎予防のケアに努め、入院者減少に繋がりました。ご入居者の身の回りの環境整備等については、担当業務マニュアルを作成し、各担当者が標準化された内容で実施する仕組みを作り、実施しました。ショートステイでは、基本断らない姿勢で相談を受け、特養の空床も含めてベッド管理に努めました。結果、居宅介護支援事業所からの信頼を得ることができ、良い成果に繋がりました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別養護老人ホーム	100名	95.5%	96.0%	95.4%
ショートステイ	18名	96.1%	95.2%	98.4%
入居全体	118名	95.6%	95.9%	95.8%
サービス付き高齢者向け住宅	35名	96.2%	94.5%	96.2%
居宅介護支援事業所(件数)		1,018件	1,042件	1,137件

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ入居者数		30名	22名	25名
延べ退居者数		27名	23名	26名
延べ入院日数		806日	953日	979日
平均介護度		3.53	3.46	3.48
割合	介護度1	4.4%	4.8%	6.1%
	介護度2	11.9%	10.9%	13.1%
	介護度3	33.2%	34.5%	31.7%
	介護度4	27.4%	33.2%	24.9%
	介護度5	23.1%	16.6%	24.3%

2. 安全衛生管理状況

職員の職場環境改善のため、残業時間の削減に努めました。毎月各部署で残業時間の理由を明確にし、その理由から業務改善の検討を行いました。結果として、入浴介助での残業時間が多かったが、具体的な改善までには至らず、次年度の課題としました。事故について、直接的な原因が不明な骨折事故が3件発生しました。介助場面ごとでの振り返りを行い、ケア時の注意事項等を確認し、再発防止に努めました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
転倒・転落・接触	4件	4件	3件
誤薬・誤嚥・異食	1件	3件	3件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	1件	2件	5件
合計	6件	9件	11件

3. 職員研修

サービスの質向上のため、人材育成を重要課題と捉え、研修形態を全体研修(運営基準等)、職種別研修、フォローアップ研修、介護力強化研修、新人研修の5つの分野に分類し、年間計画として実施しました。今年度も継続して、同内容を全職員共通理解の目的でオンライン動画研修を導入継続しました。また、各専門職や管理職向けの研修を職員別に振り分けし、動画研修にて実施しました。動画研修以外では、感染症や喀痰吸引、ノーリフトの実技研修、ZOOM開催によるグループワーク形式の研修も取り入れ、職員間の意見交換の場に繋がりました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	接遇研修	65名	10月	ターミナルケア研修 認定特定行為業務従事者研修	64名 6名
5月	身体拘束廃止	69名	11月	医療関連 身体拘束廃止(ZOOM)	64名 36名
6月	倫理及び法令遵守 認定特定行為業務従事者研修	69名 6名	12月	緊急時の対応	64名
7月	リスクマネジメント 高齢者虐待防止(ZOOM)	65名 36名	1月	非常災害時の対応 救急対応(AED)	63名
8月	プライバシー保護	65名	2月	認知症ケア ノーリフト研修	60名 6名
9月	感染症・食中毒の予防 感染防止実技	64名 58名	3月	精神的ケア・褥瘡研修	57名

4. 行事報告

コロナ5類移行に伴い、企画内容も外出や飲食可能な行事を取り入れ、ご入居者の楽しみや社会参加の場を提供することができました。ご家族と過ごす時間も限られていたこともあり、夏祭りに関しては、ご家族や地域の方々の参加の中実施し、有意義な時間を過ごされ、大変喜ばれていました。

【主な行事】

	行事名
夏	野球観戦 地域交流夏祭り
秋	糸島海鮮丼ドライブ 敬老祝賀会
冬	もちつき 鏡開き
通年	ユニット行事 個人の願いごと叶え

5. 地域貢献活動

令和5年度についても、継続して千代地区事業者ネットワーク連絡会の中で他事業所と協働のもと地域貢献活動を実施しました。2ヶ月に1回定例会を開催し、地域支援について協議しました。千代校区社会福祉協議会主催の「まちの保健室」の協力機関として、月1回で千代地区事業者ネットワーク連絡会と協働運営を行いました。

その他、10/6 千代小学4年生へ認知症キッズサポーター養成講座実施、12/13 SMBC コンシューマーファイナンス(株)様へ認知症サポーター養成講座を実施しました。

また、千代校区の行事(山笠・ふれあいフェスタ千代)にも参加し、地域の方々との交流を図りました。

けいあい保育園

1. 運営実績報告

今年度は、行動に責任を持てる保育士育成を目標として業務に取り組みました。保護者の伝達事項を確実にする為、連絡ノートなど使い、いつもより共有できた。今後も、職員全員がわかるような取り組みをしていく。また、職員一人ひとりが行動に責任をもつ事で、充実した保育に取り組めるよう健康面や心のケアに配慮しました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小規模保育園	19名	83.8%	83.8%	69.3%

2. 職員研修

保育士の専門性を高めることを目的として研修を実施しました。子どもの気持ちに寄り添える保育意識を高め今後も取り組んでいきます。

【主な研修】

	研修名	参加数
4月	子どもにメディア講座	2名
5月	健康・安全研修会等	2名
6月	人権保育研修会	1名
7月	救急講座	1名
8月	保育における子どもの権利を考える等	3名
9月	キャリアアップ幼児教育等	3名
11月	健康・安全研修会等	2名
12月	キャリアアップ保護者支援等	2名
1月	人権保育研修	1名
2月	博多区要保護児童支援地域協議会研修会	1名

3. 行事報告

発表会は、年齢ごと分け実施。保護者に子どもの成長を見て戴き、日頃の給食を検食し喜んで頂いた。今後は感染症前のように入居者との交流会を入れていきたい。

【主な行事】

	行事名
春	入園式・進級式 健康診断 鯉のぼりの会 母の日会
夏	歯科検診 プール開き 七夕会 園内夏祭り 食育会
秋	敬老の会 お別れ会（発表会） 秋の会 健康診断
冬	正月の会 豆まき ひな祭りの会 バレンタイン会 卒園式
通年	身体測定 避難訓練 誕生日会

ケアスタ福岡

1. 運営実績報告

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げとなり、本来の事業所運営の軸となる地域交流を行いながら、稼働率の向上、介護の質の向上、待遇強化、5Sの徹底を職員全体で取り組みました。令和5年度にデイサービスが指定更新し、令和6年度は小規模多機能型居宅介護・グループホームが初めての指定更新、また介護報酬改定を見据え、委員会や会議等の見直し充実を図りました。また、地域の相談窓口として、在宅サービスのみならず、相談者に合わせた入居案内、実利用者の状況に合わせ特養・サ高住への案内など、法人貢献を行いました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和3年度	令和4年度	令和5年度
デイサービス	45名	66.1%	66.0%	67.0%
グループホーム	18名	87.2%	85.1%	92.3%
小規模多機能型居宅介護	29名	92.5%	94.3%	88.2%
サービス付き高齢者向け住宅	11名	94.2%	85.6%	85.3%

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス感染症は5類への引き下げとなったものの、引続き感染予防の徹底を行いました。またケアスタ福岡の看護師を中心に、嘔吐物処理、ガウンテクニック等の内部研修等を行い、感染に対する職員の意識付けと知識向上を目的に実施しました。

リスクマネジメント委員会において、事故内容の検証やヒヤリハットの重要性を掲げ、意識改革に取り組んでおり、事故件数も減少しています。

【行政への事故報告件数】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
転倒・転落・接触	11件	4件	4件
誤薬・誤嚥・異食	18件	10件	2件
打撲・皮膚剥離	4件	4件	3件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	2件	1件	0件
合計	35件	19件	9件

3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症が5類への引き下げになったことから、外部研修への積極的な参加、ケアスタ福岡を中心に在宅サービス事業所にて委員会を行い、各事業所内会議にて資料を基に内部研修を行いました。

【主な内部研修】

	研修名		研修名
4月	実習指導のポイント	10月	感染症予防・まん延防止、嘔吐物処理について
5月	プライバシーの保護について	11月	身体拘束排除、スピーチロックについて
6月	感染症・食中毒について	12月	業務継続計画（BCP）について、在宅支援、需要と許容について
7月	コンプライアンス、法令順守、クレーム対応について	1月	ハラスメントについて
8月	事故発生防止、事故の再発防止について	2月	高齢者虐待について
9月	認知症について	3月	高齢者の権利擁護について

4. 行事報告

食事提供方法の変更に伴い、食事イベントの充実と様々な外部イベントへの参加を行いました。

【主な行事】

	行事名
春	花見ドライブ
夏	外出企画（ショッピング）山笠見学・そうめん流し
秋	敬老会はサービスごと開催
冬	節分・ひなまつり開催、初詣、忘年会（お寿司バイキング）
通年	小規模な誕生日会を実施、九州美味しいものフェア（年4回程度）

5. 地域貢献活動

地域清掃等の地域交流においては、利用者と共に参加、山笠への職員派遣、事業所の開放、法人が事務局を行っている千代地区事業者ネットワークにおいて実施している「まちの保健室」へ積極的に参加しています。

福岡介護福祉専門学校

1. 運営実績報告

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、コロナ前の教育活動に戻しました。特に介護現場との行き来が可能になったことで、本校の特徴である実践教育、敬愛園式介護教育法を再開させました。学生募集については、日本人・留学生の受験者が前年度より増加したことで、令和6年度入学生は定員である40名が入学しました。

【学生募集活動の状況】

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
オープンキャンパス参加者数		123名	42名	337名
入学 試験	受験者	75名	28名	154名
	合格者	41名	28名	40名
	入学辞退等	2名	0名	0名
次年度入学者		39名	28名	40名
うち留学生		27名	18名	27名

【令和5年度の学生数及び定員充足率等】

項目	全体 (80名)	内 訳		
		2年生 (40名)	1年生 (40名)	
令和5年4月現在の学生数	65名	37名	28名	
うち留学生	43名	26名	17名	
定員充足率	81.3%	92.5%	70.0%	
学生数に対する留学生の割合	66.2%	70.3%	60.7%	
学生 の 動 向	退学	3名	0名	3名
	休学	0名	0名	0名
	留年	0名	0名	0名
	進級	25名	—	25名
	卒業	37名	37名	—

2. 奨学会 (奨学金制度)

今年度は、学生49名（うち1年生20名、2年生29名）が認定されました。2年生については、令和6年4月に奨学会会員施設に就職し、債権譲渡契約を締結する予定としています。

令和4年度卒業生についても、各施設を2回訪問してフォローアップ面接を行い、退職者を出さず、全員就労を継続しています。今後も就職後のフォローアップを継続して行い、会員法人からの更なる信頼醸成と、奨学会加入に対する価値向上に努め、安定運営に繋がっていきます。

【奨学会奨学金貸与額 (一人当たり)】

入学準備金	150,000円
月額	35,000円
奨学金合計 (2年間)	990,000円

照葉けいあい保育園

1. 運営実績報告

本園の保育の願いは「子どもたちの健やかな成長を願い、一人ひとりのありのままの姿を尊重し、安心して失敗できる毎日を保証する」とし「子ども主体の保育」を目指し取り組み、保育者同士が共通理解をすることに力を注ぎました。園の周りの地域環境も職員同士で情報交換をしながら年齢にあった場所や体験ができるよう計画をして保育の中に取り入れました。いろいろな事を体験することで工夫したり友達同士の話し合いが出来たり、してみたいに挑戦する姿が見られたことが子どもたちと保育士の成果です。園児数は親の転勤や転居などで令和6年に入り増減が見られました。

【園児数】

クラス	年齢	定員	令和5年 4月時点	令和6年 3月時点	定員充足率
たんぽぽ組	0歳	15名	13名	13名	86.7%
すみれ組	1歳	20名	24名	23名	115.0%
れんげ組	2歳	20名	25名	25名	125.0%
ゆり組	3歳	25名	30名	27名	108.0%
ひまわり組	4歳	25名	25名	24名	96.0%
さくら組	5歳	25名	23名	23名	92.0%
合計		130名	140名	135名	103.8%

2. 行事報告

開園して2年が過ぎ、職員・園児たちも園舎の利用の仕方など体験しながら身につけることが出来はじめています。保育の質も増してリズム遊び・運動遊びも園庭、ホール・廊下などうまく利用することが出来ました。行事は、芋苗うえや夏野菜を育てたり収穫したものでクッキングをしたりして異年齢児との交流もスムーズになりました。卒園生が出来たことでお店屋さんなどに招待しました。また、運動会、夏祭り、秋祭り、クリスマス会、豆まきなどを通して、隣のグループホームと交流を図りました。初めての運動会も近くの体育館で行い、盛況に終わることができました。

【主な行事】

	行事名
春	入園式、親子遠足、懇談会、夏野菜植え
夏	スイカ割り、お店屋さんごっこ、お月見会クッキング
秋	マリンワールド探検、和出汁試食会、交通教室、クッキング（お月見） 運動会、秋祭り、観劇会
冬	クリスマス会、行事食、節分、ひな祭り、保育参観、クッキング バイキング、お別れ遠足、年長児茶話会給食試食会、卒園式
通年	畑で野菜づくり、お誕生日のお祝い

3. 職員研修

開園2年目、自園での職員研修は2回程。同法人内の保育園で実施された研修に参加することで「人権に配慮し子ども一人ひとりの人格を尊重する」という保育理念を職員全体に周知することができました。他園の保育を参観したり、運動会などを見学したりしながら保育の一助にしていきました。福岡市や保育協会の職員研修に参加しました。

【主な研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	新人研修	7名	10月	人権研修等	3名
5月	雲仙市保育参観研修会等	4名	11月	保育者育成研修会等	8名
6月	危機管理研修会等	5名	12月		
7月	さぼーと保育研修	3名	1月	特別支援研修会	1名
8月	主任研修、救急法研修等	14名	2月	市保育研究会	3名
9月	インプロ研修等	11名	3月		

照葉けいあいホーム

1. 運営実績報告

令和5年4月1日に新規開設、グループホームは2施設目であり、スムーズな運営開始ができました。在宅サービス事業所との連携を図りながら、入居促進、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全員で取り組みました。併設保育園との交流は密に行えましたが、照葉北校区は高齢化率が低く、就労世帯が多いため、地域包括支援センターと連携を図りながら、地域イベントへ積極的に参加し、地域交流を行うよう努めました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和5年度
グループホーム	18名	72.6%

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げとなったものの、引続き感染予防の徹底を行いました。食中毒や感染症については、在宅サービス事業所と連携し委員会を行い、知識向上に努めました。

事故件数については、内服の確認不足により、ユニット全員が対象となる事故が発生しました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和5年度
転倒・転落・接触	0件
誤薬・誤嚥・異食	8件
打撲・皮膚剥離	2件
食中毒・感染症	0件
その他	0件
合計	10件

3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げとなったことから、外部研修の積極的な参加、在宅サービス事業所にて委員会を行い、会議にて資料を基に内部研修を行いました。また、主治医の先生より「認知症基礎研修」等の講演をして頂きました。

【主な研修】

	研修名		研修名
4月	開設	10月	感染症予防・まん延防止について
5月	プライバシーの保護について	11月	身体拘束排除、スピーチロックについて
6月	感染症・食中毒について	12月	業務継続計画（BCP）について
7月	法令順守、クレーム対応について	1月	ハラスメントについて
8月	認知症基礎研修	2月	看取り研修
9月	感染症について	3月	高齢者の権利擁護について

4. 行事報告

絵はがきや年賀状作り、映画鑑賞などのレクリエーション、らっきょう漬けや季節の野菜を育てるなど、グループホームの特徴を活かした行事を企画しました。

【主な行事】

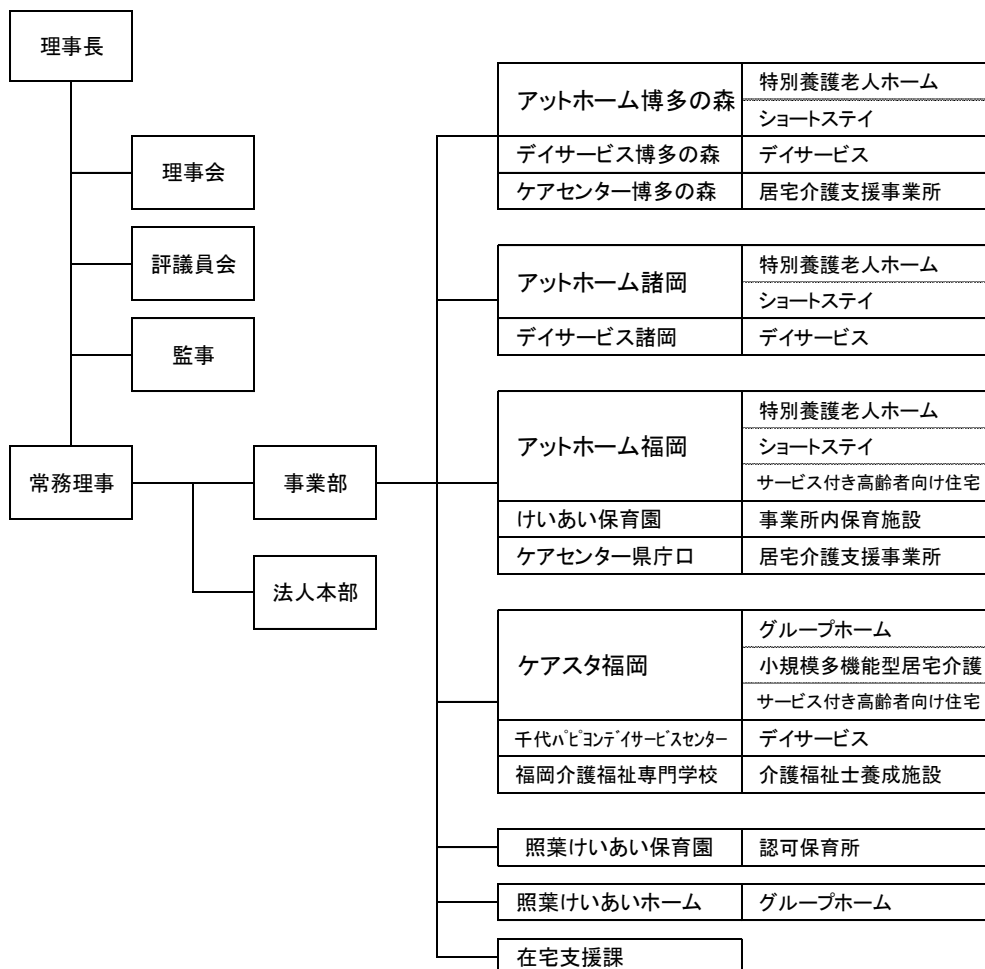
	行事名
春	節分、ひな祭り
夏	七夕、飾り山見学、そうめん流し、土用の丑の日
秋	敬老会、保育園運動会見学、秋祭り
冬	クリスマス会
通年	小規模な誕生日会

5. 地域貢献活動

まだまだ、地域との関係性が出来ておらず、地域包括支援センターとの連携を軸に、貢献できるよう、地域のイベント等へ参加したいと思っています。

III 組織図

令和6年3月31日現在



【サービス・定員数】

施設名	サービス・定員数 (○印は定員なし)								
	特養	SS	DS	居宅支援	GH	小多機	サ高住	保育園	専門学校
アットホーム博多の森	99	27	18	○					
アットホーム諸岡	80	10	10						
アットホーム福岡	100	18		○			35	19	
ケアスタ福岡			45		18	29	11		80
照葉けいあい保育園								130	
照葉けいあいホーム					18				
合計	279	55	73		36	29	46	149	80

【職員数】

施設名	介護職員		看護職員		保育士		他の専門職		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
アットホーム博多の森	53	2	7				13	5	80
アットホーム諸岡	48	3	5	1			9	8	74
アットホーム福岡	47	2	5		7		13	6	80
ケアスタ福岡	29	8	3				9	3	52
照葉けいあい保育園					21	5	6	3	35
照葉けいあいホーム	11	3					2		16
法人本部							4		4
合計	188	18	20	1	28	5	56	25	341

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人敬愛園
理事長 益田康弘